



人類に奉仕する  
ロータリー

RI第2510地区

留萌ロータリークラブ



# 会報

2016 ▶ 2017  
WEEKLY REPORT

留萌ロータリークラブ 会長目標 **友情の和を拡げ  
奉仕の和を拡げよう**

会長／渡邊裕久 幹事／高橋理佳

## プログラム

●本日  
「地区研修・協議会出席報告」

結婚記念日  
中 出 敏 彦

●次週予定  
－法定休会－

No. 2739  
第38回 4月26日

出席報告

前  
例  
会

会員総数……………35名  
出免会員……………5名  
出免出席……………4名  
基準会員出席……………16名  
出席率……………58.83%

前  
々  
会

第35回 3月22日

欠席会員……………15名  
内メイクアップ……………6名  
修正出席率……………70.97%

例会／毎週水曜 12:15～13:15 留萌産業会館2F

## 📝 会長報告 ……………

1. 本日12時より臨時理事会を開催し、会員選挙の結果を報告しました。
2. 留萌商工会議所青年部より通常総会出席の礼状をいただきました。

## 📋 幹事報告 ……………

- 赤平RC、妹背牛RCより3月会報と4月例会案内をいただきました。
- RI第2510地区インターアクト年次大会の案内をいただきました。今年は6月17日、18日に岩見沢市の北海道グリーンランドホテルサンプラザで開催されます。参加希望の方は幹事まで。
- オロロンスノーパラダイスプロジェクトより

2017年度の実施報告書と決算報告書を頂きました。

- 手続き要覧の購入申し込みは4月25日となっておりますので、希望者はお早めに幹事まで。
- 2014～2015年度の地区要覧とガバナー月信総集編が届いております。
- 第27回日本ロータリー親睦ゴルフ北海道大会開催の案内が届いております。6月22日～23日、札幌国際カントリークラブ島松コースにて開催されます。参加料15,000円、プレー代15,000円、参加希望者は幹事まで。
- 羽幌で開催される、第1グループIMの出席確認とバス利用の有無をFAXにて確認させていただきます。必ず期限までご返信ください。

## 🎵 愛好会 .....

音楽カラオケ愛好会 高田 愛好会幹事

皆さんのテーブルの上にも参加申し込みの用紙を置いてありますが、4月26日午後6時30分よりワンポイントにおいて、音楽カラオケ愛好会を開催いたします。カラオケは非常に身体に良いと言われております。ぜひ多くの会員の参加をお願いします。なお、今回は3名の元会員も参加しますので、懇親を深めていただければと思います。ゲストとして祐川みゆきさんもお招きしておりますので、歌唱力の参考にしていただければと思います。FAXでの出欠も忘れずをお願いします。

## 📰 3分間情報 .....

会員研修委員会 高田 副委員長  
「ロータリーの友」について

昭和27年7月、日本のロータリーが東西2地区に分割されたため、両地区での情報共有を目的に雑誌を発行することになり、昭和28年1月に「ロータリーの友」が創刊されました。創刊号は横組みでしたが、昭和47年1月号から現在のような、縦組みと横組みの体裁になりました。昭和50年7月号より、国際ロータリーの公式地域雑誌となり、RI本部で編集発行している機関紙「ザ・ロータリアン」と30の地域雑誌を含めて「ロータリーワールド・マガジンプレス」と言い、ロータリアンはこれらのどれかを購読する義務があります。

ロータリーの友には、「友愛の広場」「ロータリーアットワーク写真編」「ロータリーアットワーク文章編」「我がまちの味」の投稿にご利用いただけます。会員の多くの投稿をお待ちしていますが、その際に気を付けていただきたい点を述べさせていただきます。会員に興味をもって読んでいただくには、良い写真が大きなポイントになりますが、単なる集合写真や記念写真は掲載されません。活動の様子がよくわかる生き生きとした動きのある写真をお送りください。原稿は投稿規定によりお書きいただき、活動後

1ヶ月以上経過した原稿は掲載されないことになっていきますので、活動日を必ず記載して下さい。なお、掲載された写真や記事は著作権で保護されていますので、クラブの会報やHPへの転載などを希望される場合は、ロータリーの友事務所までご相談ください。

留萌クラブは素晴らしい活動をしていますので、ぜひとも投稿をされてはと思います。

### 新会員紹介



中井 祐史

昭和43年8月31日生まれ

勤務先：北海道電力留萌営業所 所長

住 所：留萌市末広町4丁目10番1号

TEL 42-1390 FAX 42-8532

家族構成：奥様、子供(1男1女)

職業分類：電力販売

所属委員会：親睦活動委員会

## 📧 ニコニコBOX .....

- 堀様、本日お忙しい中卓話をありがとうございます。 渡邊会長
- ご心配をお掛けしました。全快しました。病気には注意しましょう。 山本会員
- 孫の100日祝いをしました。 二ノ宮会員
- 祖母の葬儀ではお世話になりました。ありがとうございました。 田中会員
- 少し良い事がありました。 関野会員
- 家内安全、皆様ケガには注意しましょう。 中出会員

前 回	619,750円
今 回	8,000円
累 計	627,750円

## プログラム……………

来賓卓話「JR留萌線について思う」

北海道新聞留萌支局

支局長 堀 雅晴 様

JR留萌線留萌―増毛間(通称・増毛線、16.7キロ)が昨年12月に廃止され、95年間の歴史に幕を下ろしました。しかし廃線を前にした昨年12月、JR北海道の島田修社長は留萌線深川―留萌間(50.1キロ)を含む10路線13区間を「単独では維持困難」とし、沿線自治体と廃止・バス転換に向けた協議に入りたいと表明しました。

輸送密度が200人未満と少なく、留萌線深川―留萌間については「バスの方が利便性が高まる」としてバス転換を進めていくとしました。

留萌では、JRの事業見直し方針に対し市議会の留萌線対策会議がいち早く反応。同月には会合を開き、留萌市や深川、空知管内沼田、秩父別の沿線3市町、各議会と連携を図ることを確認しました。

空知では、深川市と空知管内の沼田、妹背牛、秩父別、北竜の北空知4町と経済団体などが今年1月、「北空知JR留萌本線問題検討会議」を設立。留萌線の存続を目指し、道に国への働きかけを求める方針を決めました。同会議の会長を務める深川市の山下貴史市長は2月、道庁で荒川裕生副知事と面談。「北海道全体が一つの交渉団をつくり、国に支援を要請していくべきだ」と述べ、道に主導的な役割を求めました。

しかし留萌市の動きは見えてきません。高橋定敏市長は3月に開かれた定例市議会の一般質問で「(北空知JR留萌本線問題検討会議)現在まで留萌市に対し、参加を含めた協議要請はない」と答弁。沿線自治体との協議については「ある時期においては必要になってくると認識している」としたものの、「国や北海道の議論を見ながら判断する」と述べるに止まりました。

市民レベルでも様相は似ています。沼田町商工会は3月、町内の小売店や飲食店などで1500円の買い物をすると、JR留萌線石狩沼田―深川間で乗車できる回数券1枚をプレゼントする「JR留萌本線応援フェア」を始めました。

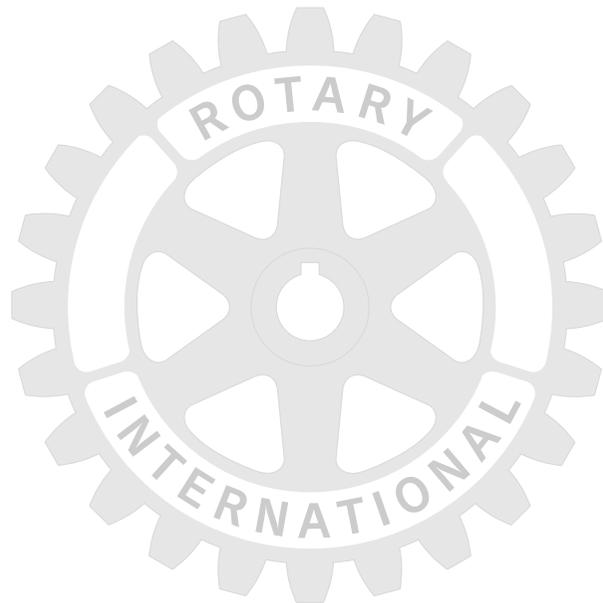


また、同町の老人クラブ「沼田長生クラブ」は4月、JR留萌線の石狩沼田駅をボランティアで清掃しました。列車通学の高校生や通院する町民に駅舎を気持ちよく利用してもらおうと2011年から毎年行っている活動ですが、留萌線留萌―深川間の廃止・バス転換方針を受け、今回は路線存続の願いも込めたそうです。しかし留萌ではこうした動きはいっこうに見えません。市民の多くが日常的に鉄道をほとんど利用していない現状がそうさせているのかもしれない。

留萌線と並行して走る高規格幹線道路「深川留萌自動車道」は2019年度に全線開通する予定ですが、市のトップが会長を務める同自動車道早期建設促進期成会が早期開通を求めてきた点が影響しているのかもしれない。「道路と鉄道の両方を求めるということにはならない」(関係筋)との声もあります。

JR北海道の経営は非常に厳しい状況にあります。本体が傾けば、元も子もありません。深川留萌自動車道のように車での往來が今まで以上に利便性を増せば、留萌線の立場はさらに苦しくなります。

しかし、ローカル線にも十分存在意義があるはず。1910年(明治43年)から100年を超える歴史を重ねた鉄路が本当になくなってよいのか、バスに転換すれば足りるのか。結論はどうあれ、市民自らが議論に加わることが将来のまちづくりにとってとても重要なことだと考えます。留萌線の最終運行日となった昨年12月4日付の弊紙にも書きましたが、線路は一度はがしてしまったら、もう戻りません。JRも国も道も市も、市民の声に耳を澄まし、市民の動きに目を凝らしているはず。



## 春の交通安全旗の波運動

平成29年4月6日(木)午後4時30分 株式会社 四十坊前

